

# 置戸町青年団体連絡協議会は 70周年記念事業を行います

昭和21年、戦後の混乱の中、これから日本はどうか、町づくりはどうしたらいいのかなどを勉強しなければと思立った青年たちが置戸村連合青年会を発足し、70周年を迎えました。

昨年の町民構成劇でも演じられました学習の必要性を考え、町内有志の家をまわり、献本運動を行った青年読書会をはじめ、弁論大会での優秀な成績、スポーツ大会、演劇や合唱の活躍。置戸町青年団体連絡協議会に改組し、時代とともに変革しながら、夏まつりのグリーン・サウンズ・フェスティバル、鹿ノ子ダムキャンプ場でのドライブインシアターの開催、全国青年大会へ出場など青年活動を通して仲間づくりと、自己の研鑽に努めてきました。

この70周年を祝うため、今年2月に実行委員会を立ち上げ、2つの記念事業を計画し準備を進めています。1つは活動を支援してくれる町民の皆さんに少しでも恩返しができるよう「食」をテーマにした記念講演会。もう1つは、地域の青年同士が交流し、同世代はもちろんのこと、異年齢・異業種との「つながり」を広げ、今後の置戸町の青年団活動の発展と次代を担う人材育成を図るための記念交流会です。記念事業成功のため、実行委員会も工夫し、広報、講演会、演劇、動画、料理の各グループが分担し準備を進めています。

広報グループはポスターの作成、フェイスブックページの開設。講演会グループは、森崎博之さんを講師に迎え、「生きることは 食べること」をテーマに講演会の準備を進めています。演劇と動画グループは、オケトバーフェストでのイベントの準備。料理グループは、町内の食材を使用した「おけと」らしい料理を提供するために試作を重ねています。また、会場をバーの雰囲気を出すために手作りで木のテーブルを制作したり、装飾も実行委員で構想を練っていますのでご期待ください。

置戸町青年団体連絡協議会の会員は、節目の70周年を町民の皆さんにどのように伝えるか、一人ひとりがアイデアを出し合い、楽しんでもらえる1日になるよう力を合わせて準備をしています。多くの方の来場をお待ちしております。



実行委員会の話し合いの様子



チケット作りの様子



試作された料理



テーブル作りの様子